

住民参加の原子力防災訓練を実施

10 月 20 日 (火曜日)、24 日 (土曜日) に住民参加の原子力防災訓練を実施します。

1 目的

- (1) 国、県、関係市町村や防災関係機関の相互連携による原子力災害時の体制・対応を確認し、防災業務関係者の対応力の向上・習熟を図ります。
- (2) 原子力災害時の防護措置に対する住民の理解向上を図り、訓練結果の検証を行うことで、避難の問題点や課題を抽出し、避難計画の見直しや具体化につなげます。

- 2 日時** 令和 2 (2020) 年 10 月 20 日 (火曜日) 午前 9 時 30 分～午後 5 時
10 月 24 日 (土曜日) 午前 8 時～午後 4 時

- 3 実施主体** 主催：新潟県 主管：柏崎市防災会議

- 4 参加機関** 新潟県、柏崎市、村上市、糸魚川市、湯沢町、柏崎市消防団、東京電力ホールディングス株式会社

5 訓練想定

柏崎市、刈羽村などで震度 6 強の地震が発生して唯一運転中の柏崎刈羽原子力発電所 7 号機の原子炉が自動停止します。炉心冷却機能の一部が喪失し、施設敷地緊急事態となり、炉心冷却機能が喪失して全面緊急事態となります。その後、炉心が損傷して放射性物質が放出され、一時移転が必要な空間放射線量の上昇が認められた状況になります。

6 訓練項目

- (1) 1 日目 (10 月 20 日)
 - ①柏崎市災害対策本部運営訓練 (市役所 4 階 大会議室)
 - ②オフサイトセンター運営訓練 (柏崎刈羽原子力防災センター)
 - ③緊急時通信連絡訓練 (市役所 4 階 防災・原子力課執務室)
 - ④PAZ 内の学校などにおける保護者への引渡し訓練 (中通小学校、荒浜保育園)
- (2) 2 日目 (10 月 24 日)
 - ⑤PAZ 内住民の広域避難訓練 (荒浜、中通、二田地区)
 - ⑥UPZ 内住民の屋内退避訓練 (市内 UPZ 内地区の住民)
 - ⑦UPZ 内住民の一時移転訓練 (枇杷島地区)
 - ⑧安定ヨウ素剤緊急配布訓練 (⑤、⑦のバス避難集合場所)

⑨スクリーニング・簡易除染訓練（上越市直江津港南ふ頭緑地公園）

⑩広報活動訓練（市役所 4 階 無線室、防災・原子力課執務室）

7 住民参加の広域避難訓練の行き先など

(1) PAZ 内住民の広域避難訓練（10月24日）

地区	バス避難集合場所	避難経由所	避難所	人数	避難手段
荒浜	3カ所 荒浜小学校、荒浜コミセン、原子力広報センター	亀が丘体育館 (糸魚川市) (代替施設)	道の駅 マリンドリーム能生 (糸魚川市)	40人	大型バス2台
二田	4カ所 西山ふるさと館、いきいき館、二田コミセン、西山公会堂(代替施設)	パルパーク神林 (村上市)	神林農村環境改善センター (村上市)	40人	大型バス2台
中通	5カ所 中通コミセン、中越農業共済柏崎センター、吉井総合センター、矢田集落センター、五十土公会堂	湯沢カルチャーセンター (湯沢町)	旧湯沢小学校体育館 (湯沢町)	37人	大型バス2台

(2) UPZ 内住民の一時移転訓練（10月24日）

地区	バス避難集合場所	スクリーニングポイント	避難経由所	避難所	人数	避難手段
枇杷島	2カ所 枇杷島コミセン、鏡が沖中学校	直江津港南ふ頭緑地公園	亀が丘体育館 (糸魚川市)	道の駅 マリンドリーム能生	37人	大型バス2台

8 訓練スケジュール

別紙「令和2年度新潟県原子力防災訓練（柏崎市実施分）タイムスケジュール」のとおり

9 その他（訓練の中止）

次の項目に該当する場合、訓練の全部または一部を中止します。

- (1) 訓練の実施中に事故が発生し、主催者が訓練継続困難と判断したとき
- (2) 県内で災害の発生または発生のおそれがある場合、新型コロナウイルス感染症が拡大した場合など、主催者が訓練実施困難と判断したとき
- (3) その他主催者が訓練を中断することが適当と判断したとき